

これが消えないシミの正体

紫外線による影響が一度始まると、それは永遠に続くという事実です。

紫外線を浴びると、メラニンや肌の角化細胞は活性酸素を生成します。活性酸素は、皮脂や細胞間脂質と結合して、過酸化脂質を作り出します。

皮膚の深部、すなわち基底層や有棘層、顆粒層で生まれた過酸化脂質や過酸化脂質化したメラニンを含む角化細胞は、加齢によりタンパク分解酵素や脂質分解酵素が減少・不活性化すると、分解されずに角質層へと移行します。

しかしながら、角質層では分解酵素が存在しないため、これらの角化細胞の分解はほとんど起こらず、一度蓄積されたこれらの物質は、皮膚の自然な再生プロセスであるターンオーバーによって排出されることは稀となります。

この現象は、加齢とともに皮膚バリアが壊れ、紫外線が絶えず侵入する肌になると、肌にとって、重大な意味を持ちます。

紫外線を浴び続けることで、基底層で一度メラニンが生成されると、そのメラニンは永遠に生成され続け、角質層で蓄積し続けることとなります。これが、消えないシミの正体です。